



高円宮杯 ホッケー日本リーグ 【女子】 第5節 第 13 日

開催日時 5 月 19 日 (日) 会場 親里ホッケー場 天候 晴れ

【試合結果】

ソニーHC BRAVIA Ladies 勝点31 10勝1分	5	$\begin{pmatrix} 3-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	0	山梨学院 CROWNING GLORIES 勝点7 2勝1分9敗
コカ・コーラウエスト レッドスパークス 勝点31 10勝1分	9	$\begin{pmatrix} 3-0 \\ 6-1 \end{pmatrix}$	1	東海学院大学 勝点12 4勝8敗
グラクソ・スミスクライン 勝点22 7勝1分3敗	2	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$	1	天理大学ベアーズ 勝点1 1分11敗
南都銀行 SHOOTING STARS 勝点25 8勝1分2敗	4	$\begin{pmatrix} 3-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$	1	立命館大学ホリーズ 勝点6 2勝10敗

$$\begin{array}{c} \text{ソニーHC} \\ \text{BRAVIA Ladies} \end{array} \quad 5 \quad \begin{pmatrix} 3-0 \\ 2-0 \end{pmatrix} \quad 0 \quad \begin{array}{c} \text{山梨学院} \\ \text{CROWNING GLORIES} \end{array}$$

勝点 31
10勝1分

勝点 7
2勝1分9敗

得点	ソニー→ 4分金、7分中島、25分及川、48分石田、69分中川
戦評	ソニーのセンターパスにより試合が開始された。ソニーは試合開始早々4分、サークル内でパスを受けたMF#11佐藤が、ゴール前のFW#9金に合わせて先制。勢いに乗るソニーは7分、FB#3及川のセンタリングをFW#10中島がタッチシュートで、決め2-0とする。反撃する山梨は15・20分とPCを獲得するが、チャンスを活かさない。一方、ソニーは25分にPCを獲得。FB#3及川がスウィープシュートを豪快にゴール左下に決め、3-0と山梨を引き離す。このまま前半を終了し3-0で折り返した。 反撃を狙う山梨は後半開始早々、PCを獲得。しかし、GK#1浅野のファインセーブにより得点できない。その後は、ソニーのペースを取り戻し、試合が進む。52分にPCを獲得するとFB#2林の狙いすましたパスをFW#12石田がタッチシュートでゴール右上に決め4-0とする。試合終了間際にも1点を追加し、5-0でソニーが勝利。勝点を31に伸ばした。

テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	根岸郁美
ジャッジ	飯田育子 西上英雄		高橋英行

$$\begin{array}{c} \text{コカコーラウエスト} \\ \text{レッドスパークス} \end{array} \quad 9 \quad \begin{pmatrix} 3-0 \\ 6-1 \end{pmatrix} \quad 1 \quad \text{東海学院大学}$$

勝点 31
10勝1分

勝点 12
4勝8敗

得点	コカ→ 5・29・69分金、12分新井、39・49・65分小野、46分駒澤、61分西村 東海→63分森田
戦評	コカのセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々5分、FB#16金が鋭いドリブルで東海DF陣を抜き去り、ゴール右下にプッシュシュートを決め先制する。猛攻を仕掛けるコカは12分。FW#16金の強烈なセンタリングを、FW#9新井がタッチシュートで決め2-0とする。その後もコカは東海陣内でゲームを進めるが、東海は粘りのDFで追加点を与えない。しかし、29分にコカはPCを獲得。FB#16金がリバウンドを押し込み3-0と突き放す。東海は前半終了間際でPCを獲得するものの決めることが出来ず3-0で前半を折り返した。 後半もコカの勢いは止まらない。39分にPCを獲得。FB#8小野がスウィープシュートをゴール左下に決め4-0と勝利を決定づける。さらに、46・49分と立て続けに得点。その後、東海はFW#11森田が1点を返すが反撃はここまで。9-1でコカが大勝利、勝点を31に伸ばした。

テクニカルオフィサー	堀田光昭	アンパイア	壽山由樹
ジャッジ	我妻活美 飯田育子		細川祐司

グラクソ・スミスクライン 2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$ 1 天理大学ベアーズ

勝点 22 勝点 1
7勝1分3敗 1分11敗

得点	グ ラ→ 21・45分阿久津 天 理→70分早戸沙
戦評	GSKのセンターパスにより試合が開始された。試合開始直後から、GSKはPCを獲得するがGK#1景山を中心としたDF陣の懸命な守りにより得点を与えない。天理も14分にPCを獲得するものの得点することが出来ない。試合が動いたのは21分。GSKは6本目のPCを獲得。FB#3伴田の狙いすましたパスをMF#17阿久津がタッチシュートで決め待望の先制点を手に入れる。同点に追いつきたい天理はスピードのある攻撃でGSKゴールに迫るがGSKのDF陣に阻まれる。お互い譲らない展開が続く、1-0で前半を折り返した。 後半も一進一退の攻防が続くなか、GSK45分にMF#8片峰のパスをMF#17阿久津がダイレクトシュートでゴール左下に決め2-0とする。その後は、GSKがゲームをリードし粘る天理は攻撃につなげることが出来ない。天理は試合終了間際にPCを獲得し、FB#3早戸沙が強烈なヒットシュートをゴール左下に決めるが、結局2-1でGSKが勝利し勝点を22に伸ばした。

テクニカルオフィサー	中野典子	アンパイア	小原直也
ジャッジ	西上英雄 今庄充世		藤村利道

南都銀行 SHOOTING STARS 4 $\begin{pmatrix} 3-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$ 1 立命館大学ホリーズ

勝点 25 勝点 6
8勝1分2敗 2勝10敗

得点	南 都→6・8分野村、17分植田、50分鹿取 立 命→60分山下
戦評	南都のセンターパスにより試合が開始された。序盤から南都は猛攻を仕掛ける。6分にPCを獲得し。FW#9野村がフリックシュートを豪快にゴール右上に決め先制する。勢いに乗る南都は、またも野村がヒットシュートをゴール右上に決め2-0とリードする。反撃したい立命だが南都のDFに阻まれ攻めることが出来ない。南都は17分に、FW#7植田がプッシュシュートで決め、3-0と引き離す。その後も終始南都がペースを握り、前半を3-0で折り返した。 後半も、南都のペースで試合が進む。15分、MF#8爲藤がサークルトップから技ありのアシストをゴール前のFW#4鹿取に送り、鹿取は冷静にゴール右下に決め4-0と突き放す。しかし、立命も反撃し、60分にPCを獲得し、FB#12山下が強烈なヒットシュートをゴール右下に決める。その後の立命の猛攻も、南都のDF陣は隙を見せることなく防ぎ、4-1で勝利し、勝点を25に伸ばした。

テクニカルオフィサー	堀田光昭	アンパイア	山田恵美
ジャッジ	今庄充世 我妻活美		我妻順子